

懇談会ワークショップ

「平成27年度第2回公共施設再配置・複合施設機能検討懇談会」

～本庄市の公共施設等の今後の方向性～

平成27年9月24日(木)13時30分～16時

プログラム



1. 開会あいさつ	13:30～13:35
2. ワークショップ実施にあたって	13:35～14:00 (25分)
3. グループワーク	14:00～15:20 (80分)
4. 休憩	15:20～15:30 (10分)
5. 全体発表・意見交換会	15:30～15:50 (20分)
6. まとめ	15:50～16:00 (10分)
7. 閉会	

ワークショップの実施にあたって

1.ワークショップの説明

2.本庄市の公共施設等の概況

3.本庄市の主な取組状況

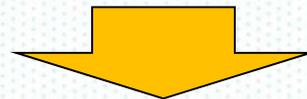
1.ワークショップの説明

(1)ワークショップの目的



本庄市の公共施設等の今後の方向性 を考えるワークショップ

- ・現在の本庄市の公共施設の配置状況はどうなっているか？
- ・本庄市において公共施設等を今後どうしていったらよいか？
- ・公共施設等を将来にわたってより効率的に活用するためには？



みなさんで考え、みなさんのご意見を参考に公共施設等総合管理計画を策定していきます。

また、多くの方々に市の公共施設等の現状についての理解や関心を高めていくことも目指していきます。

1.ワークショップの説明

(2)ワークショップの内容

ハコモノ施設(公共建築物)について

- ・本庄市の公共施設の「機能」と「立地」について考えます。
- ・また、「更新(建替)」するにあたっての今後の方向性を整理します。

インフラ施設(社会基盤施設)について

- ・インフラ施設に係るコスト縮減に向けた今後の取組について考えます。

1.ワークショップの説明

グループワークでは、班ごとに意見を出し合い、
机上の模造紙に書き込みます



1.ワークショップの説明

(3)ワークショップの実施にあたって

様々な人が集まり、共通の体験や意見交換を行うことで相互の理解をはかり、また新しい発見をし、さらに問題解決の工夫を考えることがワークショップ

～ ワークショップを進める上での姿勢 ～

1. 自分の考えや疑問を積極的に伝え、
2. みんなの意見に耳を傾けて、
3. 出た意見は記録します。

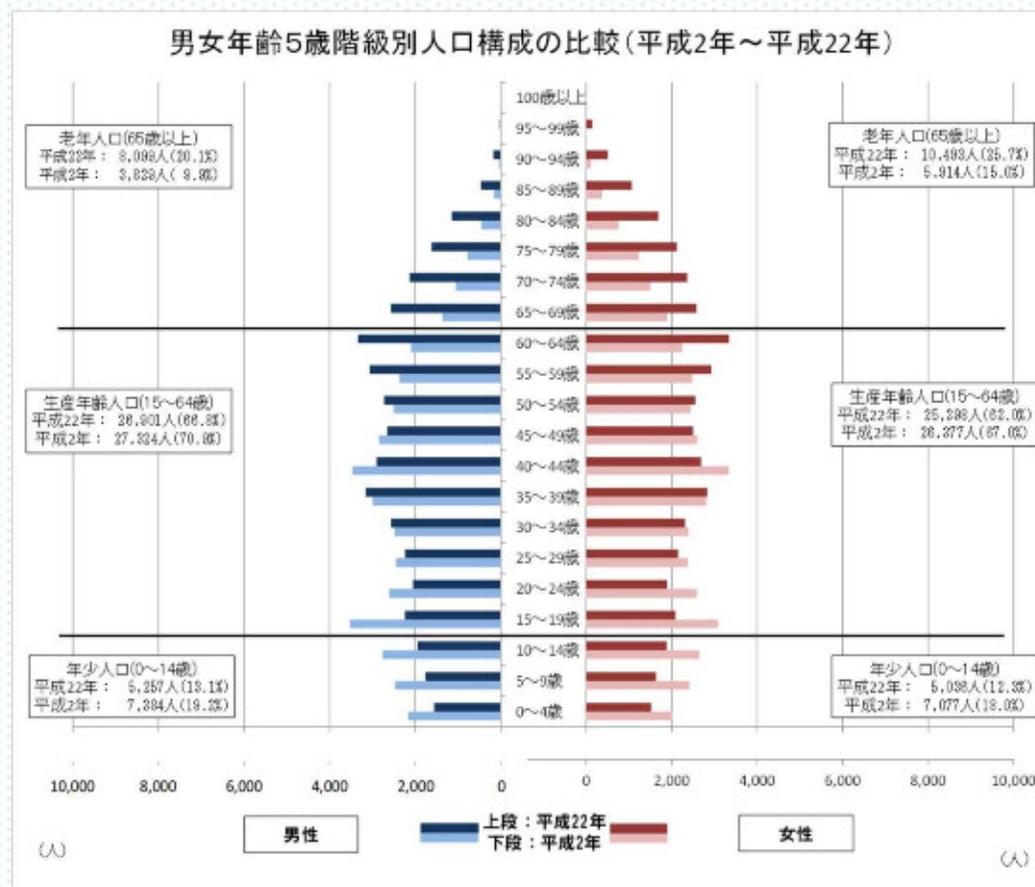
2.本庄市の公共施設等の概況

(1)人口の推移

人口減少と少子高齢化が進行

	人口	世帯数
昭和43年	63,857	15,507
平成13年	81,178	28,220
平成27年	77,213	32,017

※平成18年以前の数値は旧本庄市・旧児玉町合計



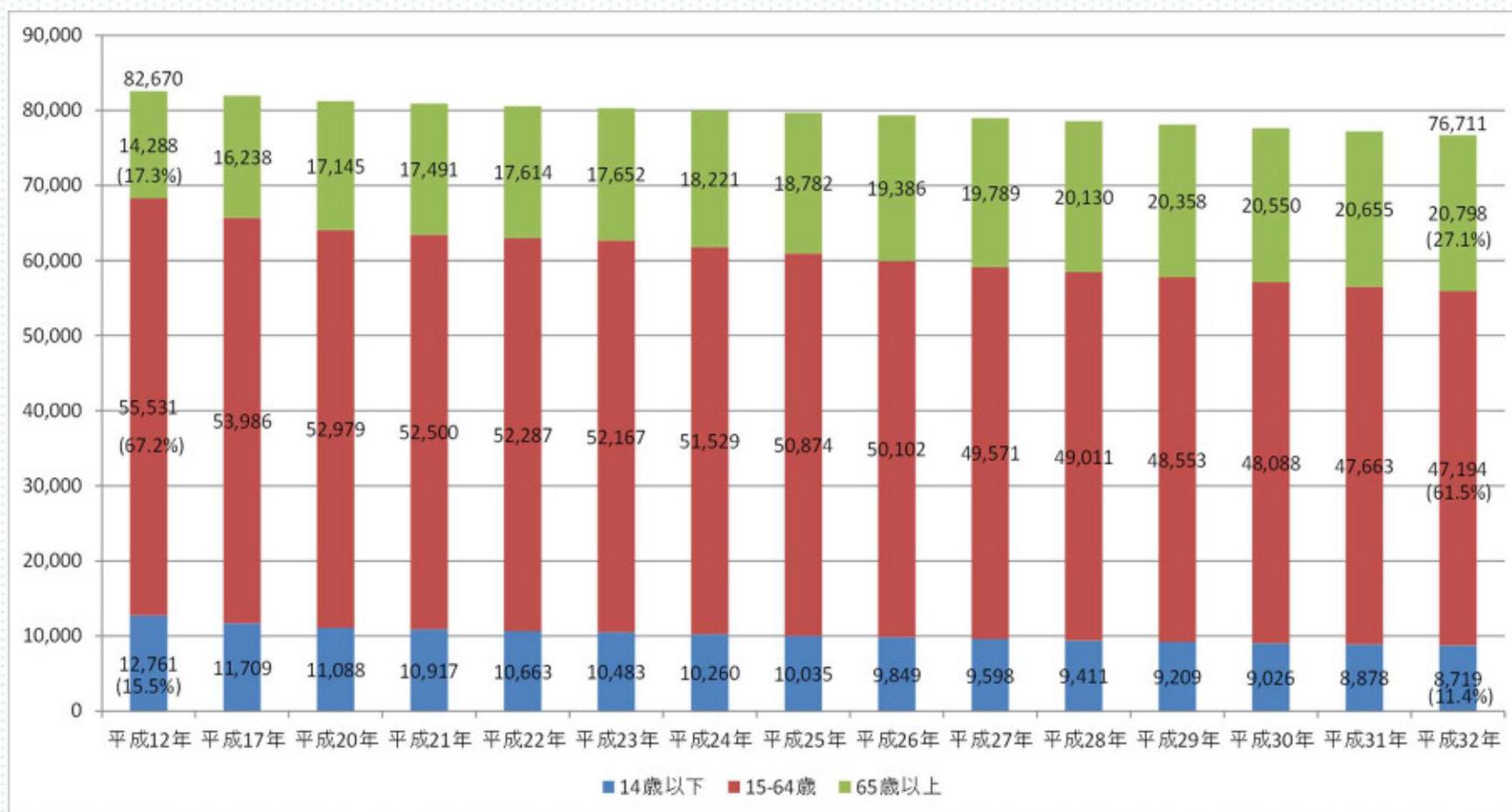
(資料：国勢調査)

2.本庄市の公共施設等の概況

(2) 将来人口の見通し

将来的にも人口減少・少子高齢化が進行する見通し

<コーホート法による将来人口の推計>



(資料:本庄市将来フレームの検討(本庄市総合振興計画人口推移の根拠資料))

2.本庄市の公共施設等の概況

(3)市の財政状況

投資的経費（公共施設の建設等に係る経費）が減少傾向
扶助費（社会保障関係費）が年々増加。



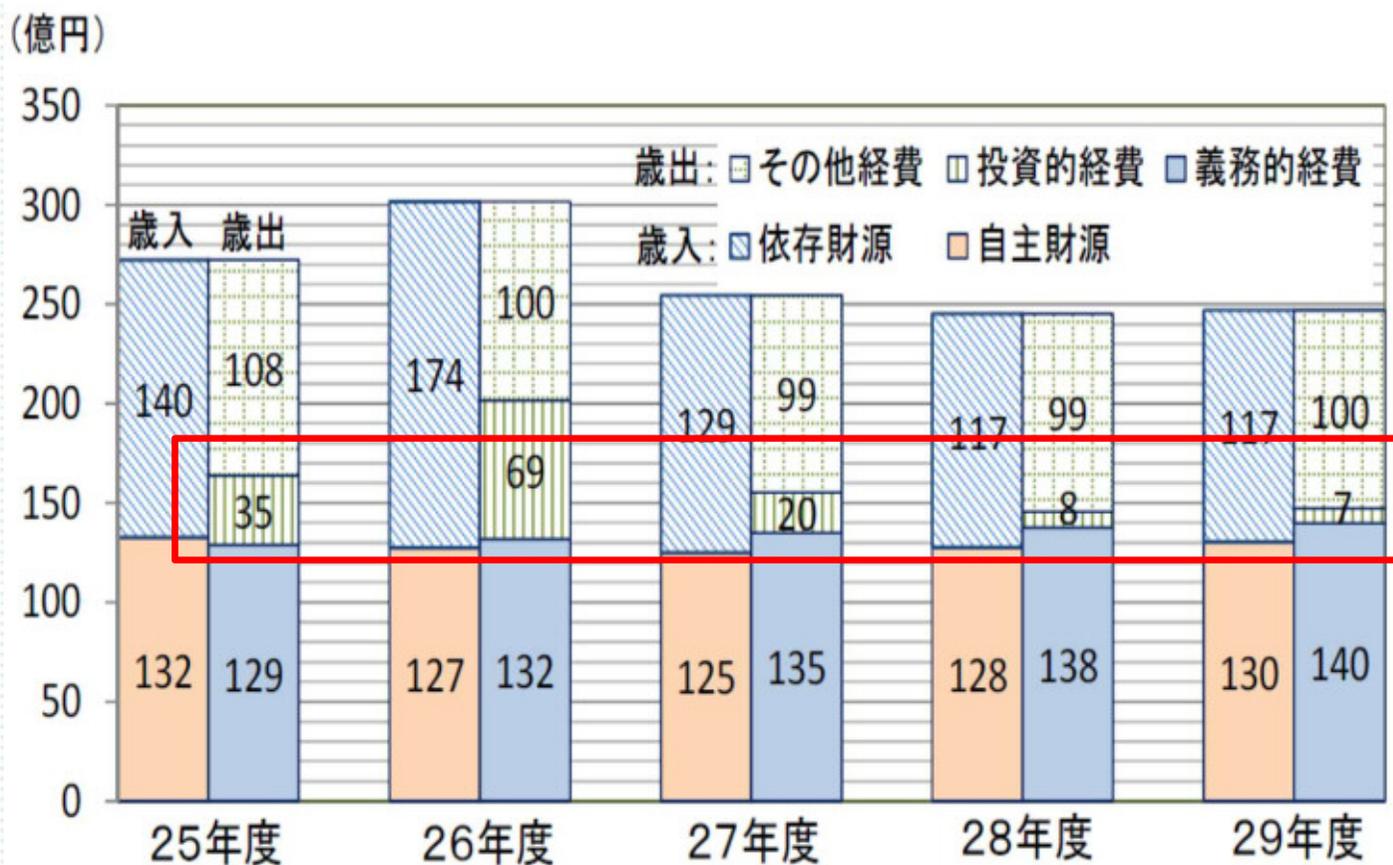
（資料：本庄市の財政状況の概要）

2.本庄市の公共施設等の概況

(4)財政収支の見通し

投資的経費が大きく減少する見込み

＜本庄市中期財政収支見通し(平成25年度～平成29年度)＞



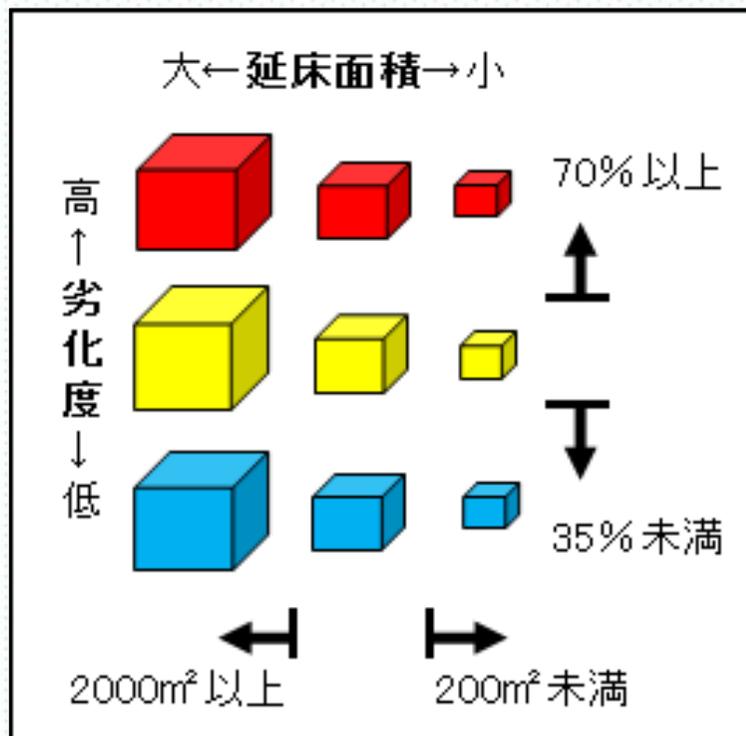
(出典:本庄市中期財政収支見通し(平成25年度～平成29年度))

2.本庄市の公共施設等の概況

(5)ハコモノ施設の概況

ハコモノ施設の配置・劣化状況

各施設の建設年からみた「経年率」と、耐震補強の状況からみた「耐震率」から、簡易的に施設の劣化度を推定しました。



$$\text{劣化度} = (\text{経年率} + \text{耐震率}) \div 2$$

$$\text{・経年率} = \text{経過年数} \div 50$$

※一般的な建物の寿命を50年とする

$$\text{・耐震率} = \text{下記の評点} \div 3$$

1981以降 : 評価点 = 1

1981以前 + 耐震済 : 評価点 = 2

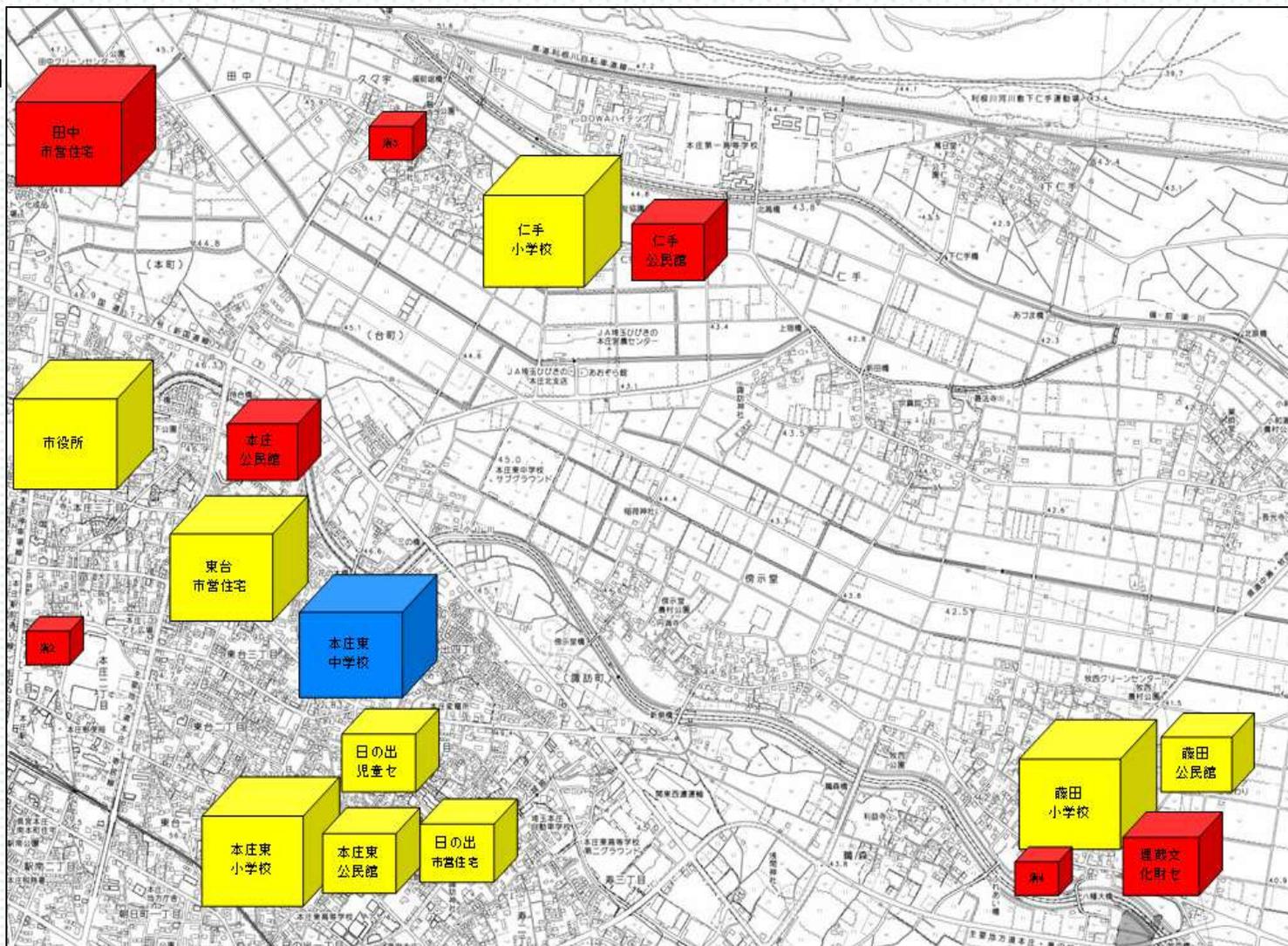
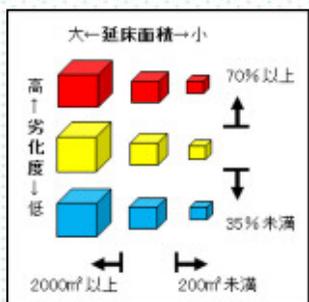
1981以前 + 未耐震 : 評価点 = 3

2.本庄市の公共施設等の概況

ハコモノ施設の配置・劣化状況

1. 本庄東中学校区

赤	3,875m ²
黄	35,004m ²
青	11,525m ²
合計	50,404m ²

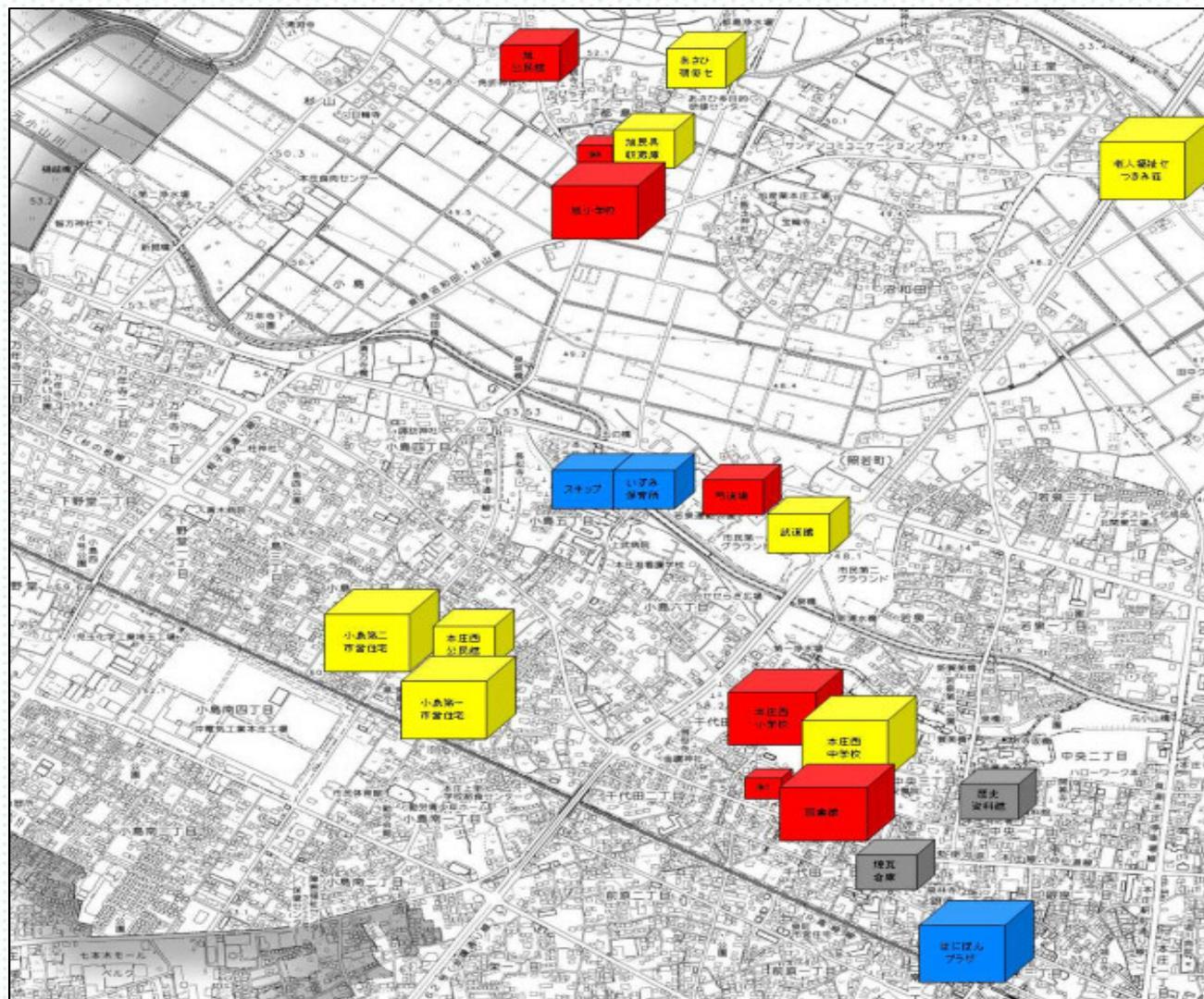
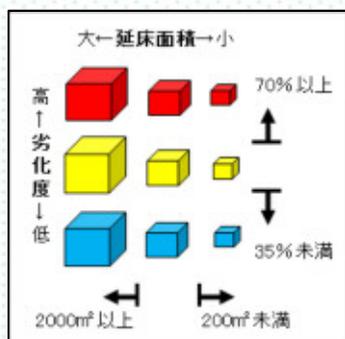


2.本庄市の公共施設等の概況

ハコモノ施設の配置・劣化状況

2. 本庄西中学校区

赤	15,119m ²
黄	17,767m ²
青	5,510m ²
白	1,178m ²
合計	39,574m ²

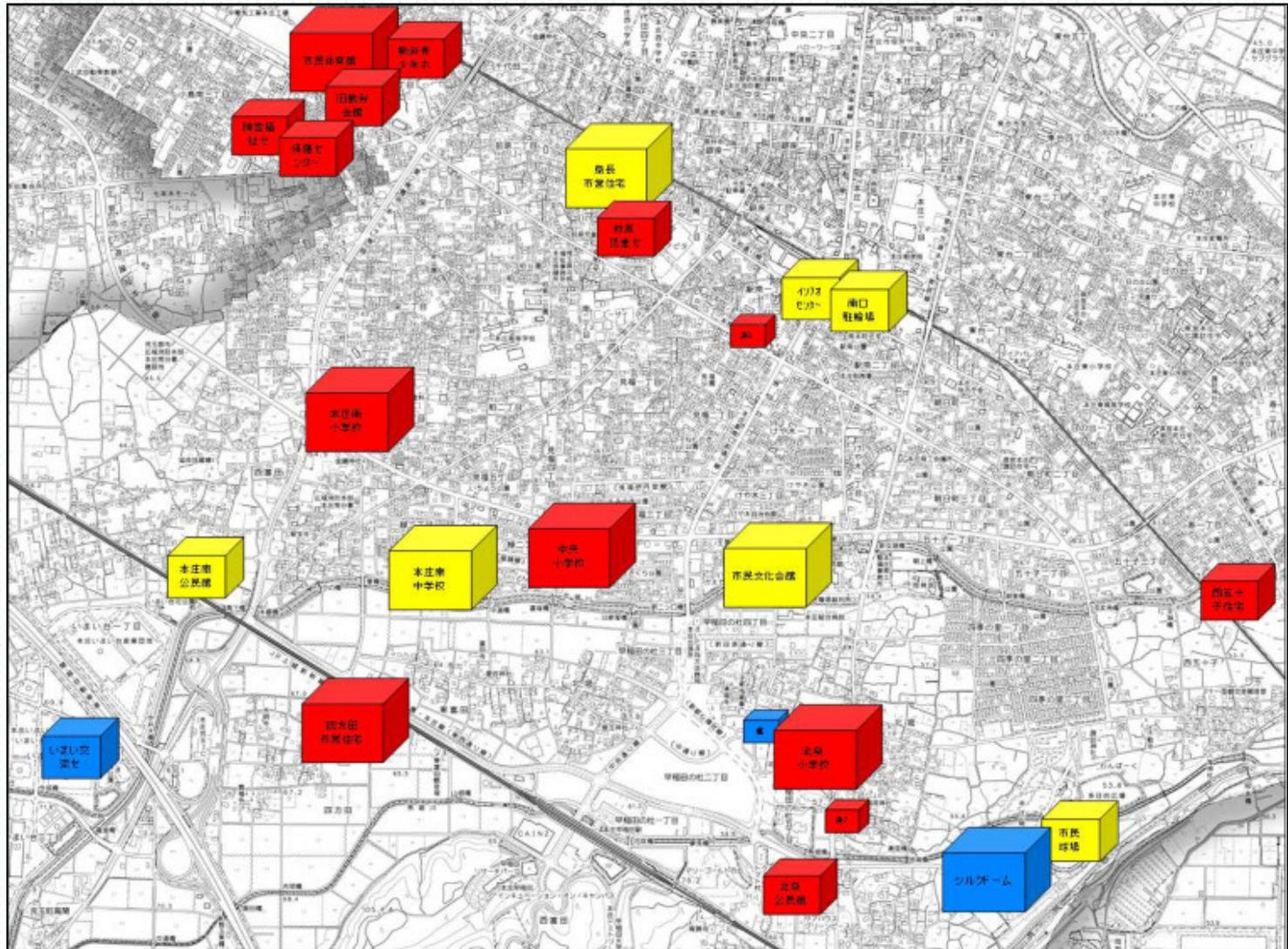
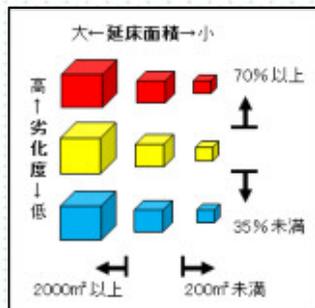


2.本庄市の公共施設等の概況

ハコモノ施設の配置・劣化状況

3. 本庄南中学校区

赤	29,836m ²
黄	23,975m ²
青	8,188m ²
合計	61,999m ²

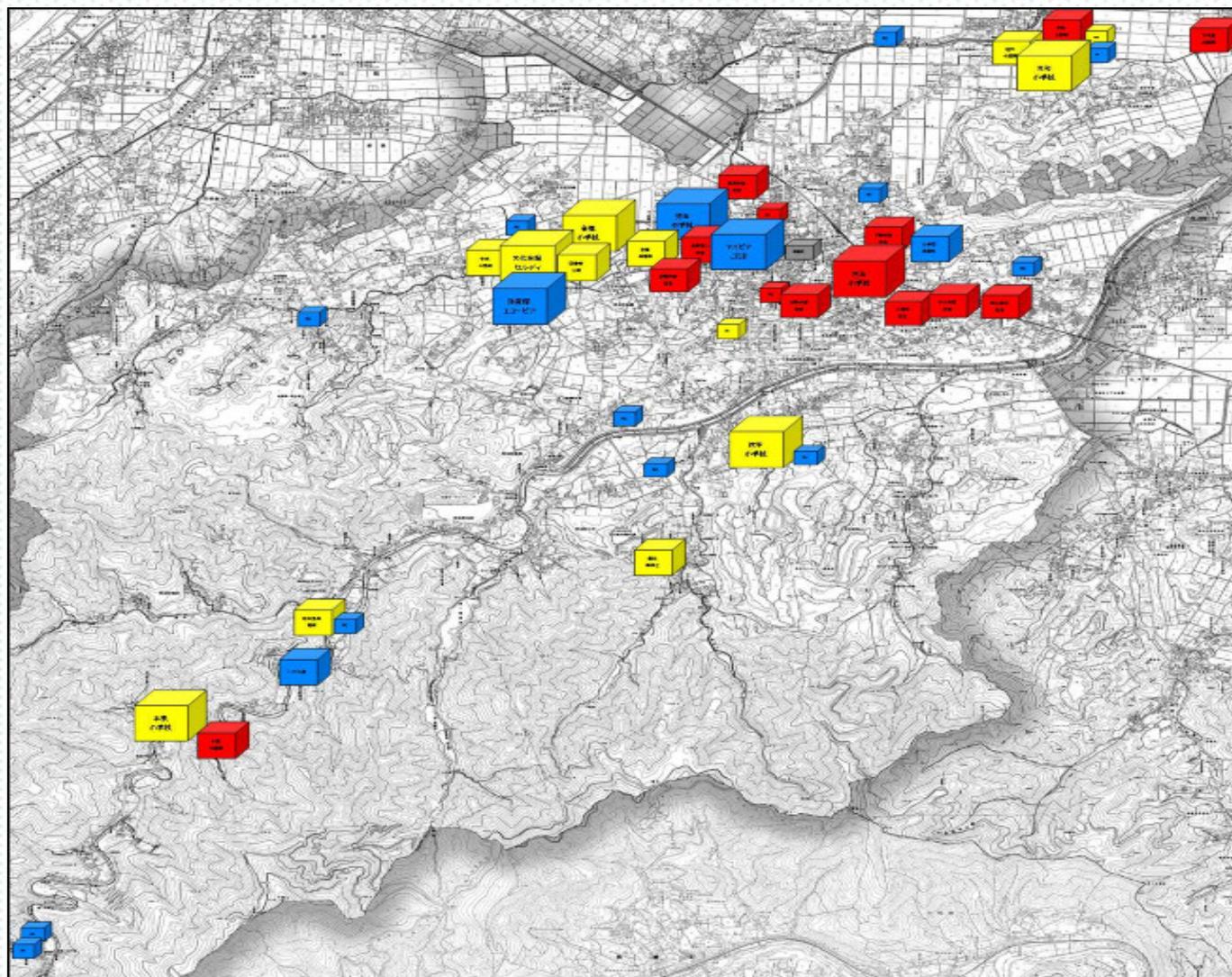
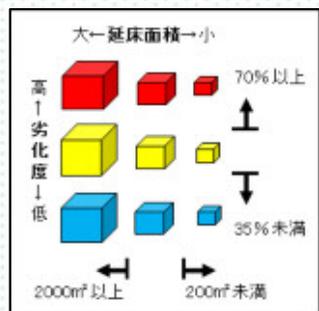


2.本庄市の公共施設等の概況

ハコモノ施設の配置・劣化状況

4. 児玉中学校区

赤	13,313m ²
黄	20,009m ²
青	18,582m ²
	176m ²
合計	52,080m ²



2.本庄市の公共施設等の概況

(6)インフラ施設の概況

対象施設・分類

※現時点での分類であり、変更の可能性があります。

対象施設		
施設種別	対象施設	摘要
(1)道路・橋梁	道路	1級・2級市道、その他市道、自転車歩行者道、道路照明灯等
	橋梁	橋梁
	駅前広場	駅前広場、駐輪場
(2)河川	準用河川	準用河川
	調整池	調整池
(3)公園・屋外スポーツ施設	都市公園	街区公園、近隣公園、地区公園、総合公園、緩衝緑地、都市緑地
	屋外スポーツ施設	グラウンド、テニスコート、サッカー場
(4)上水道	上水道	上水道管渠
	浄水場等	水道庁舎、浄水場、配水場、受水場、ポンプ場
(5)下水道	公共下水道	下水道管渠
	農業集落排水	農業集落排水管渠
	農業集落排水処理施設	農業集落排水処理施設(クリーンセンター)
(6)その他施設	防災施設	防火水槽、消火栓、防災無線
	農業水利施設	農業用排水路、ため池
	その他施設	その他

2.本庄市の公共施設等の概況

1. 道路・橋梁

※現在、インフラデータ確認整理中のため、今後数値等を含め変更の可能性があります。

本庄市の主要な道路・交通体系図



種別		実延長(km)	道路面積(m ²)	路線数(本)
市道(一般道路)	1級(幹線)市道	64.20	617,924	56
	2級(幹線)市道	59.93	406,014	64
	その他市道	967.28	3,871,049	7,322
合計		1,091.41	4,894,987	7,442

※平成27年4月現在

種別	実施済実延長(km)	実施済道路面積(m ²)	実施済割合(%)
道路改良	459.46	2,984,540.30	42.1
道路舗装	699.94	3,911,442.29	64.1

※平成27年4月現在

施設名称	所在地	供用開始		主な施設	敷地面積(m ²)
		年	月		
本庄駅北口駅前広場	鉾座3-6-19	H1	-	ロータリー、公衆トイレ、バス・タクシー乗り場、植栽、ベンチ	4,700
本庄駅南口駅前広場	駅南2-1-19	H5	-	ロータリー、自転車置場、バス・タクシー乗り場、植栽、ベンチ	4,000
本庄早稲田駅北口駅前広場	早稲田の杜1-1-1	H16	-	ロータリー、バス・タクシー乗り場、植栽、ベンチ	6,000
本庄早稲田駅南口駅前広場	早稲田の杜1-1-1	H25	-	自転車置場、公衆トイレ	3,400
合計敷地面積(m ²)					20,100

※平成27年4月現在

2.本庄市の公共施設等の概況

1. 道路・橋梁

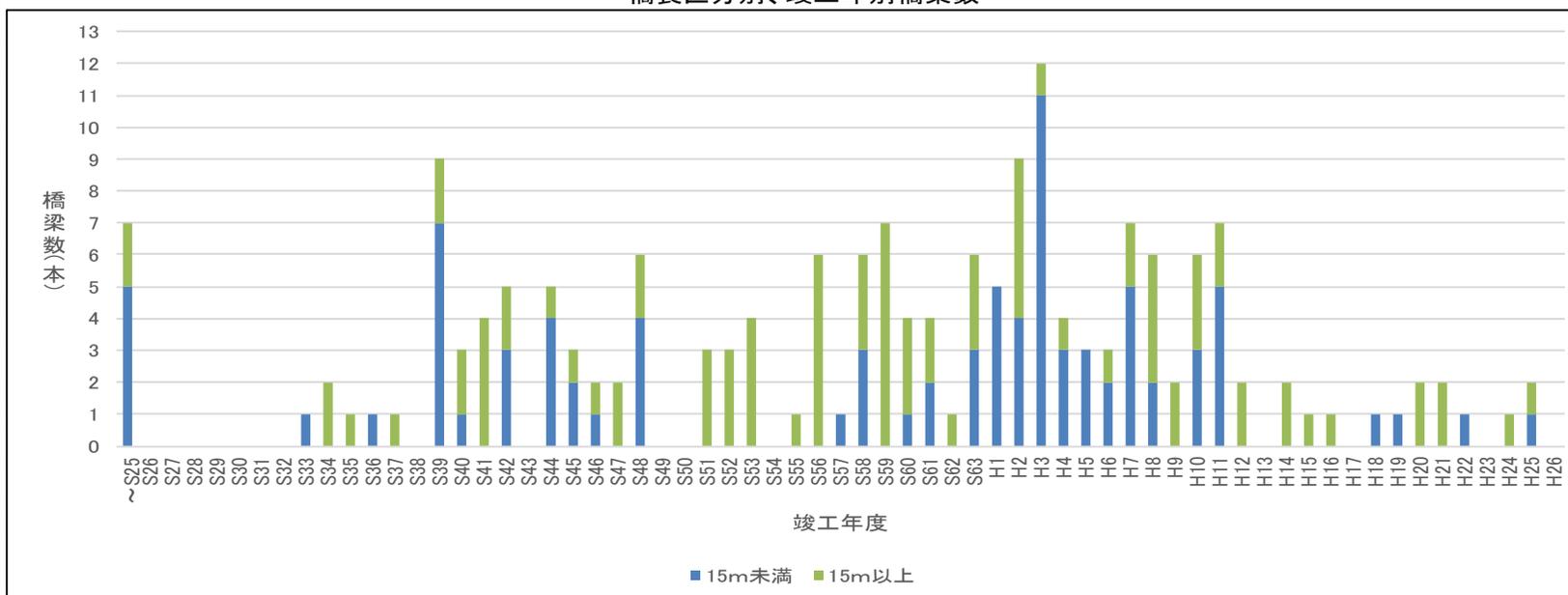
※現在、インフラデータ確認整理中のため、今後数値等を含め変更の可能性があります。

橋梁の整備状況

種別	橋長15m未満			橋長15m以上			合計		
	橋数(本)	延長(m)	面積(m ²)	橋数(本)	延長(m)	面積(m ²)	橋数(本)	延長(m)	面積(m ²)
橋梁	214	1,558	6,337	101	2,998	18,685	315	4,556	25,022

※平成27年4月現在

橋長区分別、竣工年別橋梁数



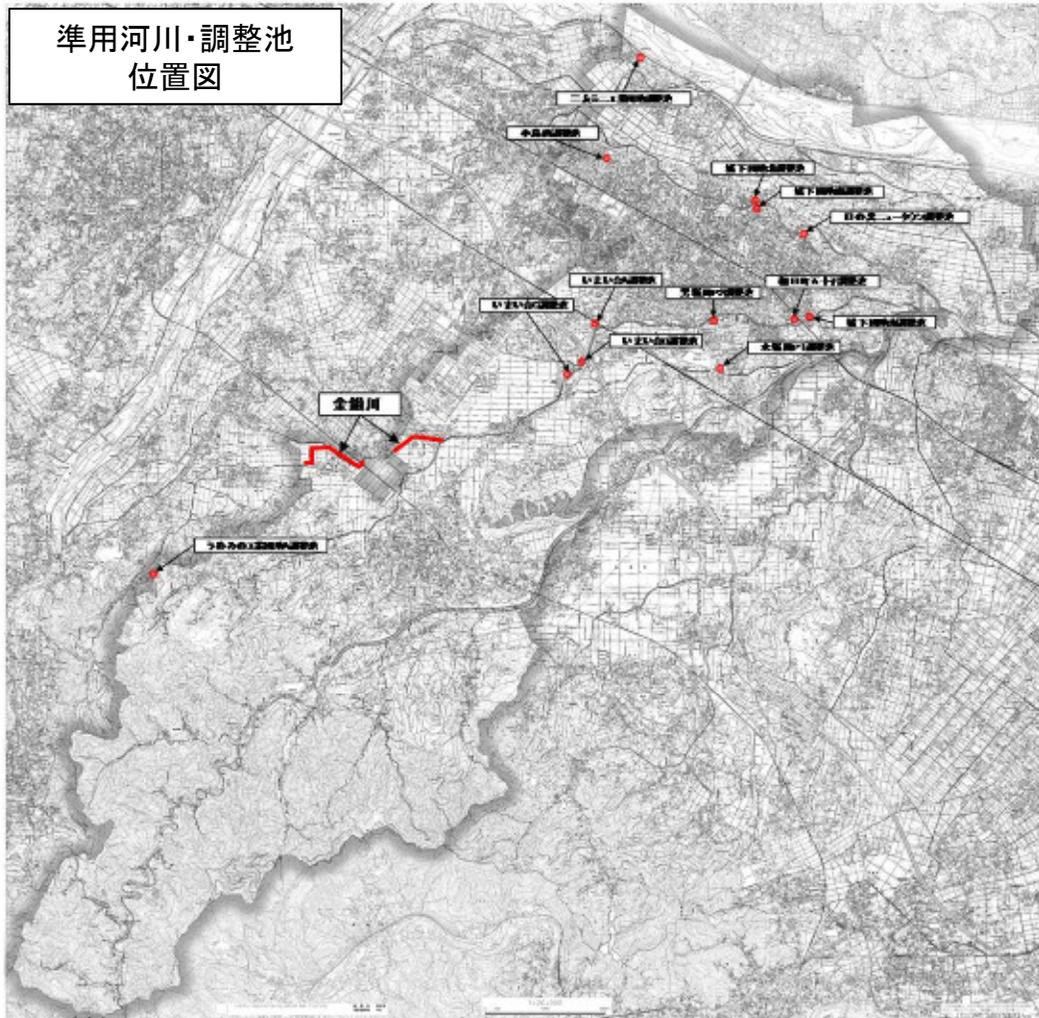
※竣工年不明を除く

※平成27年4月現在

2.本庄市の公共施設等の概況

2. 河川

※現在、インフラデータ確認整理中のため、今後数値等を含め変更の可能性があります。



準用河川の整備状況

種別	名称	実延長(m)	整備延長(m)	整備率(%)
準用河川	金鑽川	2,100	2,100	100%

※平成27年4月現在

調整池の整備状況

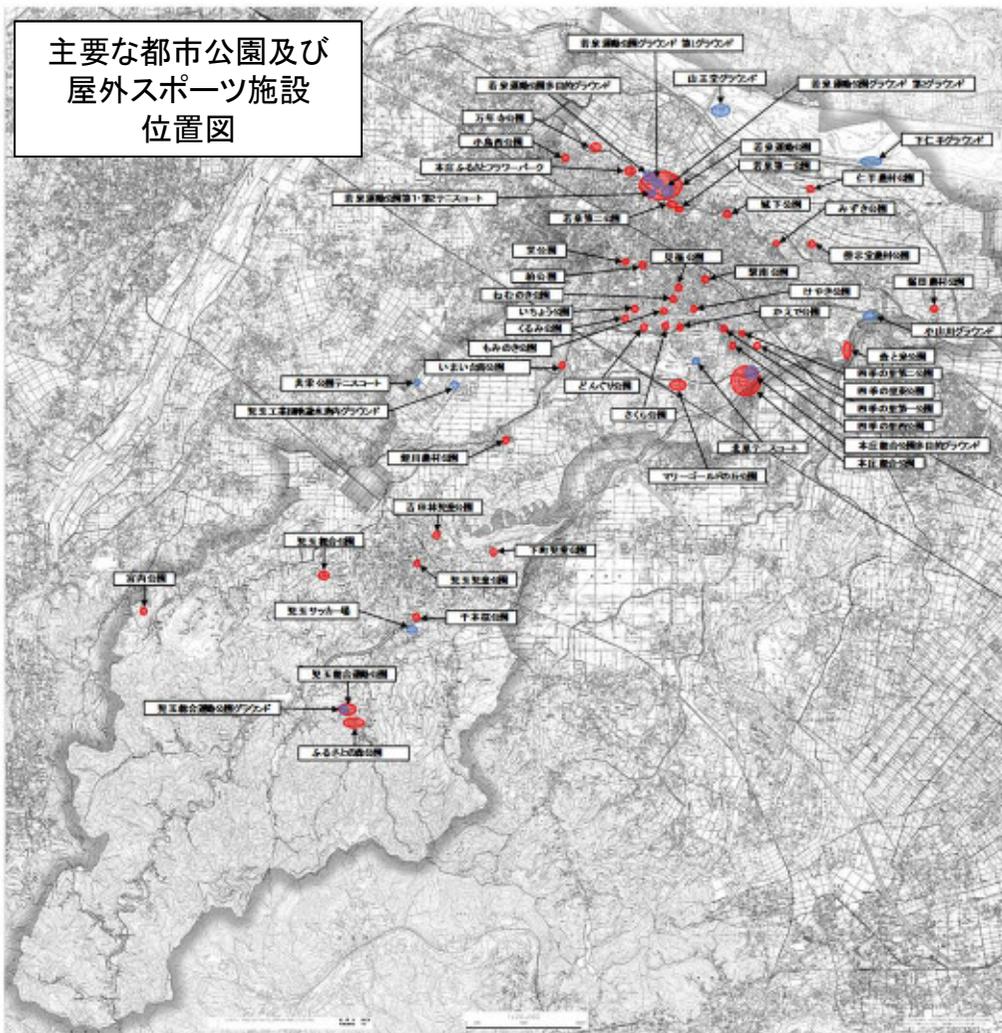
種別	合計面積(m ²)	合計調整量(m ³)	箇所数
調整池	67,340	125,300	13

※平成27年4月現在

2.本庄市の公共施設等の概況

3. 公園・屋外スポーツ施設

※現在、インフラデータ確認整理中のため、今後数値等を含め変更の可能性があります。



都市公園の整備状況

都市計画決定	種別	開設都市公園 合計	
		箇所数	面積(ha)
都市計画公園	街区公園	15	3.83
	近隣公園	1	1.31
	総合公園	2	27.19
	地区公園	1	2.03
	計	19	34.36
都市計画未決定公園	街区公園	71	12.81
	近隣公園	8	14.71
	総合公園	1	8.02
	緑道	10	1.11
	都市緑地	18	1.78
	緩衝緑地	8	4.12
	計	116	42.56
合計		135	76.92

※平成27年4月現在

2.本庄市の公共施設等の概況

3. 公園・屋外スポーツ施設

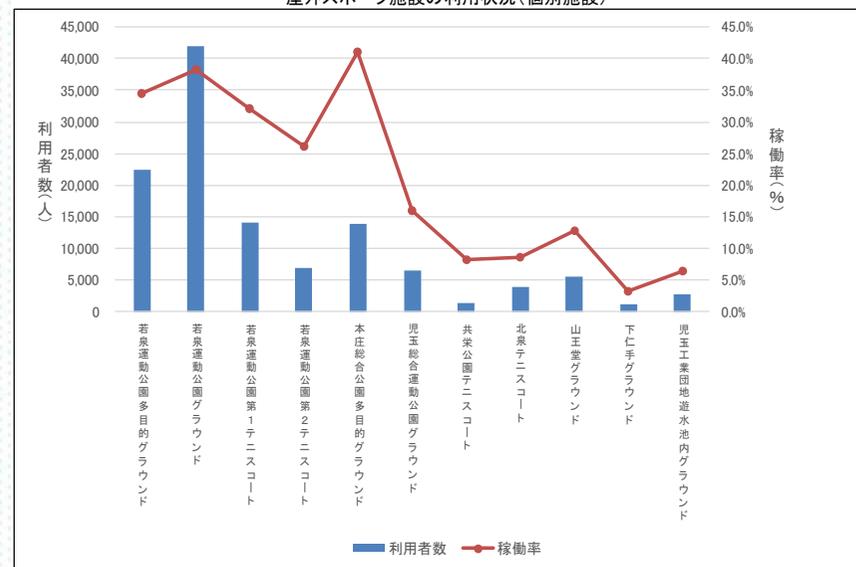
※現在、インフラデータ確認整理中のため、今後数値等を含め変更の可能性があります。

屋外スポーツ施設の整備状況

施設区分	施設名称	所在地	供用開始		主な施設	運営方法(直営、指定管理等)	敷地面積(m ²)
			年	月			
公園内	若泉運動公園多目的グラウンド	本庄市小島6-1174-1	H24	-	少年サッカーコート1面・フットサルコート3面、夜間照明、人工芝	指定管理	5,096
	若泉運動公園第1グラウンド	本庄市小島6-1186-1	S51	-	野球2面、夜間照明	指定管理	12,500
	若泉運動公園第2グラウンド	本庄市小島6-1186-1	S53	-	ソフトボール2面	指定管理	12,000
	若泉運動公園第1テニスコート	本庄市小島6-1186-1	S54	-	人工芝4面、夜間照明	指定管理	2,850
	若泉運動公園第2テニスコート	本庄市小島6-1186-1	S58	-	クレーコート4面	指定管理	2,600
	本庄総合公園多目的グラウンド	本庄市北堀433	H5	-	ソフトボール2面、サッカー1面	指定管理	24,700
	児玉総合運動公園グラウンド	本庄市児玉町小平1258	H17	4	野球1面、ソフトボール1面、夜間照明	指定管理	10,856
	共栄公園テニスコート	本庄市児玉町共栄695	S60	-	ハードコート2面、夜間照明	指定管理	1,483
公園外	北泉テニスコート	本庄市北堀1871-3	不明	-	クレーコート3面	指定管理	1,840
	山王堂グラウンド	本庄市山王堂字芝地先(河川敷)	S40	-	ソフトボール4面	直営	33,100
	下仁手グラウンド	本庄市下仁手地先(河川敷)	S56	-	ソフトボール3面	直営	18,300
	小山川グラウンド	本庄市東五十子南城下380-3	S47	-	ソフトボール1面、サッカー少年3面・大人1面	直営	41,900
	児玉工業団地遊水池内グラウンド	本庄市児玉町共栄300-7(児玉工業団地内)	不明	-	サッカー1面、ソフトボール1面、公衆便所	直営	19,000
	児玉サッカー場	本庄市児玉町秋山2166-7	不明	-	少年サッカー1面、公衆便所	直営	9,760
	合計敷地面積(m ²)						

※平成27年4月現在

屋外スポーツ施設の利用状況(個別施設)



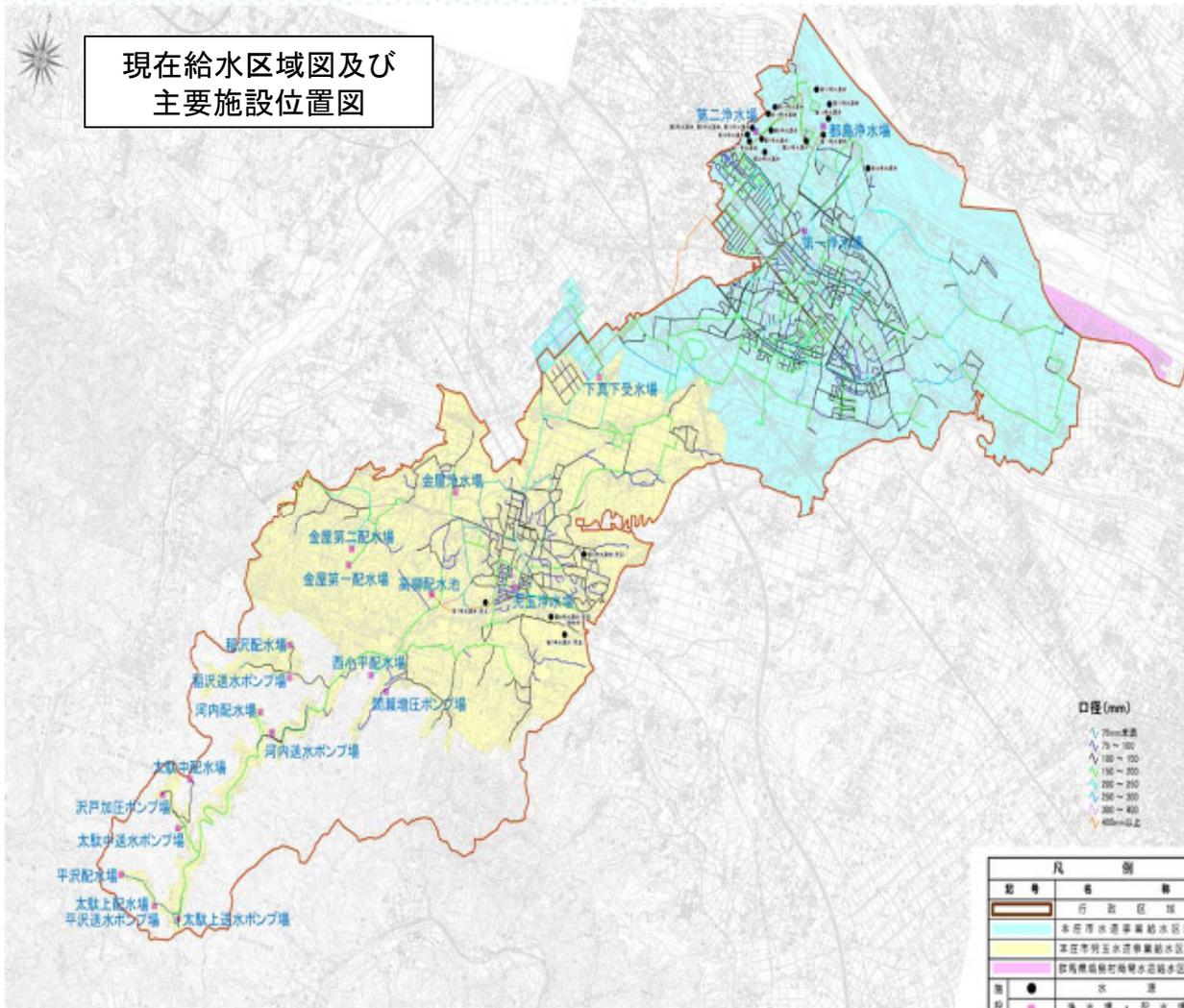
※利用者数及び稼働率は体育施設予約システムによる平成24年度～平成26年度の平均値。(体育施設予約システムを利用しない施設(小山川グラウンド及び児玉サッカー場)は含まない。)

2.本庄市の公共施設等の概況

4. 上水道

※現在、インフラデータは確認整理中のため、今後数値等を含め変更の可能性があります。

現在給水区域図及び
主要施設位置図



上水道の整備状況

種別	延長 (km)
導水管	12.19
送水管	22.21
配水管	517.25
合計	551.65

※平成27年4月現在

浄水場の建物状況

施設名称	所在地	竣工年月		築年数	耐震診断	耐震改修	構造	延床面積 (㎡)
		年	月					
水道庁舎	本庄市千代田3-4-5	S62	9	28	-	-	RC造	980.51
第一浄水場 管理棟等	本庄市千代田3-4-5	S36	-	54	未	未	RC造	367.99
第二浄水場 管理棟等	本庄市小島339	S49	-	41	未	未	RC造	830.52
都島浄水場 管理棟等	本庄市都島772-1	H8	-	19	-	-	RC造	1326.62
児玉浄水場 管理棟等	本庄市児玉町児玉南532	S41	-	49	未	未	RC造	148.69
金屋浄水場 管理棟等	本庄市児玉町田橋197	S54	-	36	未	未	RC造	94.95
高柳配水場 管理棟	本庄市児玉町高柳36-1	S57	-	33	-	-	RC造	75
桐沢送水ポンプ場 送水ポンプ室	本庄市児玉町桐沢326-1	H14	-	13	-	-	RC造	17.76
河内送水ポンプ場 送水ポンプ室	本庄市児玉町河内658-2	H13	-	14	-	-	RC造	31.39
太敷中送水ポンプ場 送水ポンプ室	本庄市児玉町太敷805-1	H14	-	13	-	-	RC造	18.72
太敷上送水ポンプ場 送水ポンプ室	本庄市児玉町太敷1447-2	H15	-	12	-	-	スツルミ造	4
宇沢送水ポンプ場 送水ポンプ室	本庄市児玉町太敷2854-7	H15	-	12	-	-	スツルミ造	18
沢戸加圧ポンプ場 加圧ポンプ室	本庄市児玉町太敷中623-1	H15	-	12	-	-	RC造	5.76
河瀬増圧ポンプ場 増圧ポンプ室	本庄市児玉町河内1034-1	H11	-	16	-	-	RC造	13.77
下真下受水場 管理棟	本庄市児玉町下真下366-1	S58	-	32	-	-	RC造	214.02
合計延床面積								4167.7

※平成27年4月現在

2.本庄市の公共施設等の概況

4. 上水道

※現在、インフラデータ確認整理中のため、今後数値等を含め変更の可能性があります。

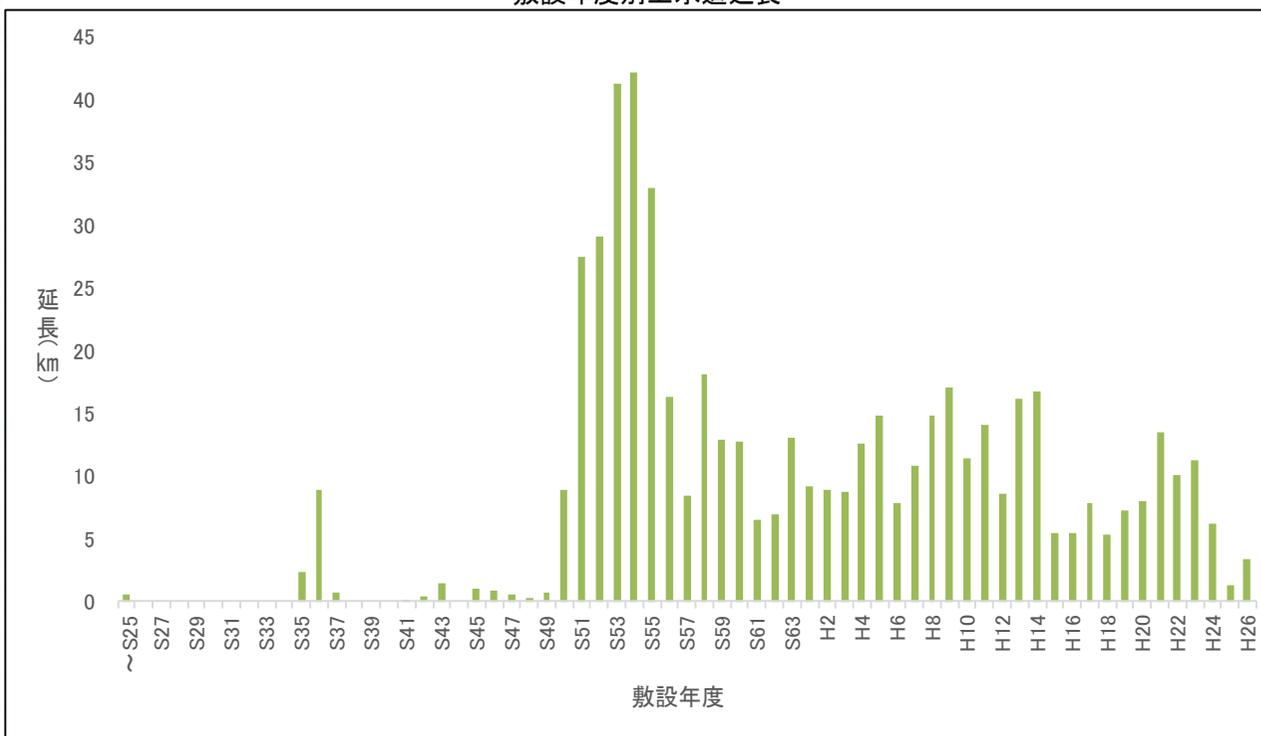
上水道の整備状況(その他概況)

その他概況	摘要
給水世帯	33,039世帯
給水人口	79,629人
配水量	11,308,135 m ³
水道料金収入	1,249,716千円
普及率	99.8%

※平成27年4月現在

※配水量、水道料金収入は平成26年度実績値

敷設年度別上水道延長



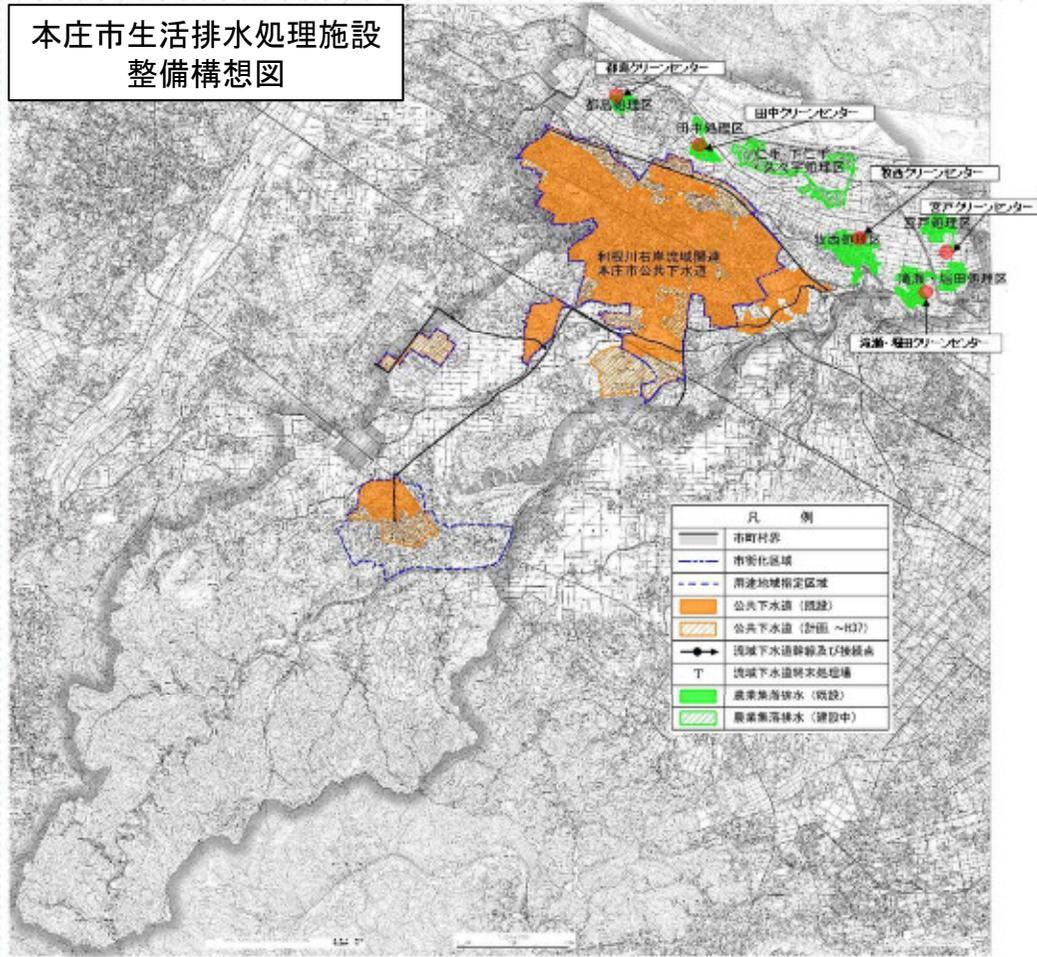
※昭和55年度に旧児玉町において一括管理となった簡易水道延長(約120km)については、敷設年度不明のため、便宜上昭和51年度~昭和55年度に均一に整備されたものとして集計。

※平成27年4月現在

2.本庄市の公共施設等の概況

5. 下水道

※現在、インフラデータ確認整理中のため、今後数値等を含め変更の可能性があります。



公共下水道の整備状況

種別	延長(km)
雨水管 合計	57.74
污水管 合計	252.04
合計	309.79

※平成27年4月現在

農業集落排水の整備状況

地区	延長(m)	処理区域(ha)	計画処理人口(人)	供用開始年度
宮戸処理区	3,409.49	19.2	500	平成7年度
滝瀬・堀田処理区	7,044.38	21.7	880	平成20年度
田中処理区	2,531.43	21.9	590	平成6年度
都島処理区	1,566.78	17.2	280	昭和63年度
牧西処理区	7,402.66	41.1	1,010	平成14年度
合計	21,954.74	121.1	3,260	

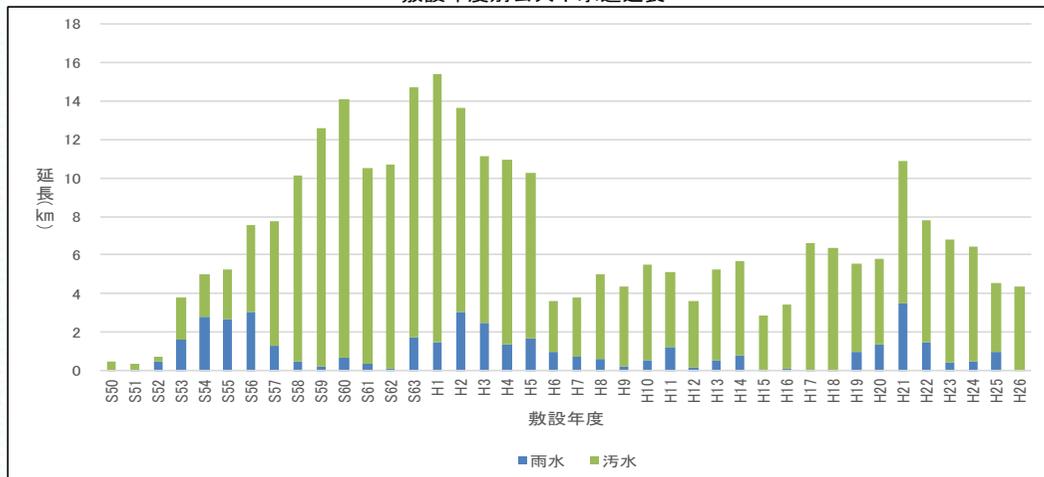
※平成27年4月現在

2.本庄市の公共施設等の概況

5. 下水道

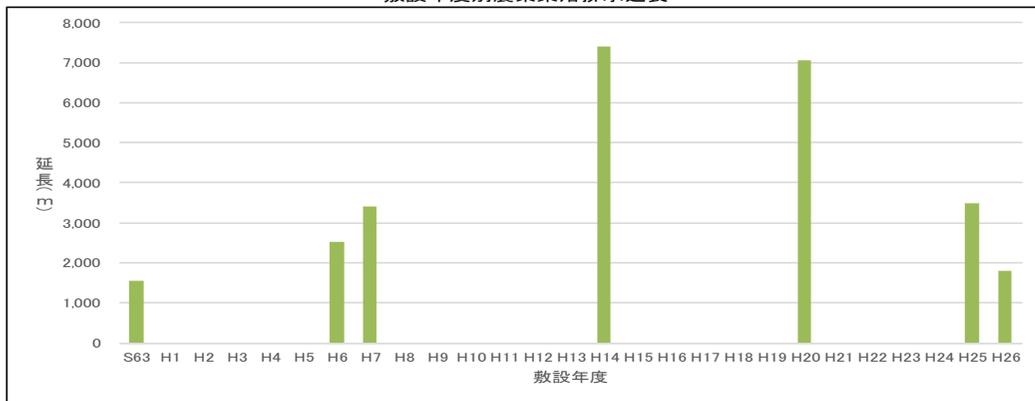
※現在、インフラデータは確認整理中のため、今後数値等を含め変更の可能性があります。

敷設年度別公共下水道延長



※平成27年4月現在

敷設年度別農業集落排水延長



※平成27年4月現在

※宮戸、滝瀬・堀田、田中、都島、牧西地区の農業集落排水管渠の敷設年度は地区の供用開始年度に集約。

※現在整備中の仁手、下仁手、久々宇地区の農業集落排水管渠は実際の敷設年度。

公共下水道の整備状況(その他概況)

その他概況	摘要
処理区域 (ha)	964.77
処理可能人口 (人)	43,400
水洗化人口 (人)	36,994
普及率 (%)	54.8
水洗化率 (%)	85.2

※平成27年4月現在

農業集落排水処理施設の建物状況

施設名称	所在地	竣工年月		築年数	耐震診断	耐震改修	構造	延床面積 (㎡)
		年	月					
都島クリーンセンター	本庄市都島36-2	H1	3	26	-	-	RC造	35
田中クリーンセンター	本庄市田中163	H6	10	21	-	-	RC造	89.99
宮戸クリーンセンター	本庄市宮戸58-5	H7	9	20	-	-	RC造	96.24
牧西クリーンセンター	本庄市牧西518-2	H15	4	12	-	-	RC造	220.32
滝瀬・堀田クリーンセンター	本庄市堀田1125-3	H21	3	6	-	-	RC造	103.77
合計延床面積 (㎡)								545.32

※平成27年4月現在

2.本庄市の公共施設等の概況

6. その他施設

※現在、インフラデータは確認整理中のため、今後数値等を含め変更の可能性があります。

防災施設(防火水槽)の整備状況

施設名称	設置数
防火水槽	431
防火井戸	150
合計	581

※平成27年4月現在

防災施設(消火栓)の整備状況

施設名称	設置数
消火栓	1501

※平成27年4月現在

防災施設(防災無線)の整備状況

施設名称	設置数
防災無線	149

※平成27年4月現在

農業水利施設(農業用排水路)の整備状況

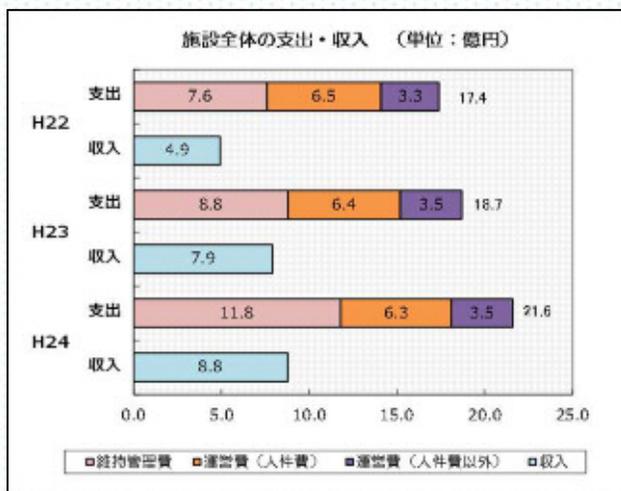
種別	総延長(m)
農業用排水路(本庄北部土地改良区)	9,564
農業用排水路(児玉土地改良区)	41,554
農業用排水路(金屋土地改良区)	11,518
農業用排水路(生野土地改良区)	2,190
合計	64,826

※平成27年4月現在

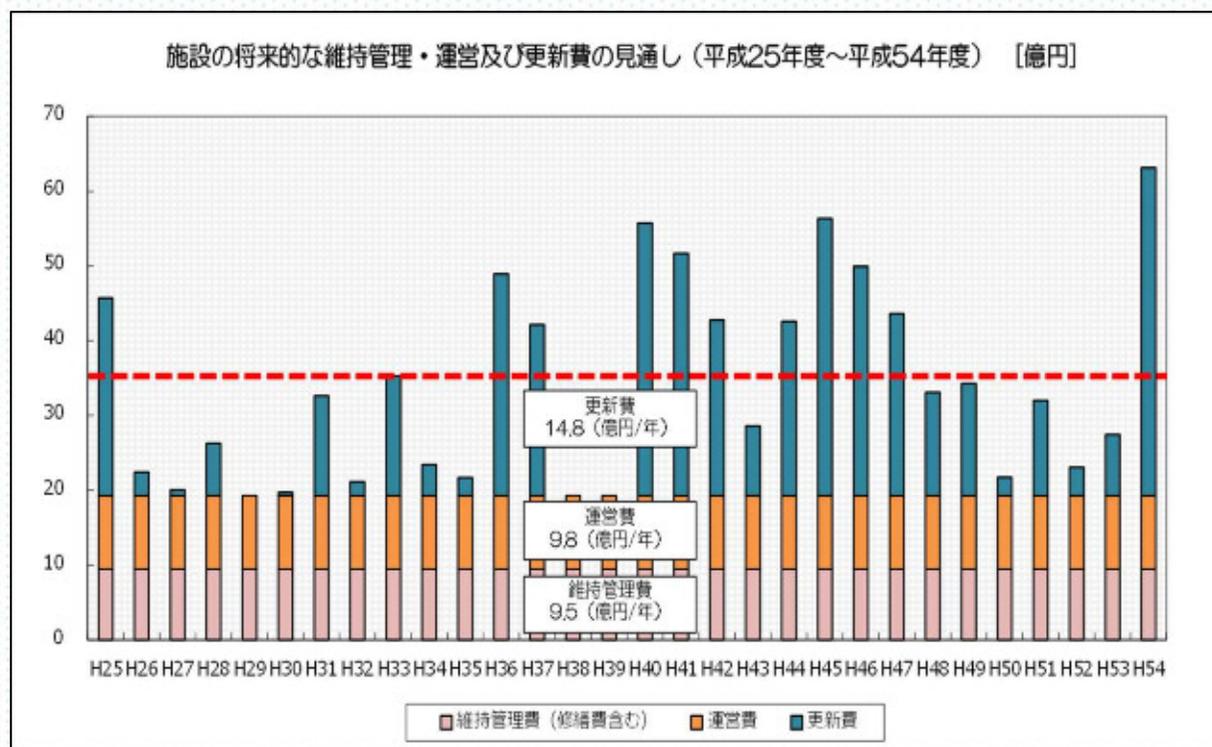
2.本庄市の公共施設等の概況

(7)維持・更新費の見通し

1. ハコモノ施設



今後30年間の更新費(建替費)は約445億円(14.8億円/年)
 →財政の見通しのH29投資的経費(7億円)を上回る
 施設の維持・運営・更新コストとして約36.5億円/年が必要



※運営費と維持管理費は、施設種別実態調査に基づく平成22年度から平成24年度の平均額。

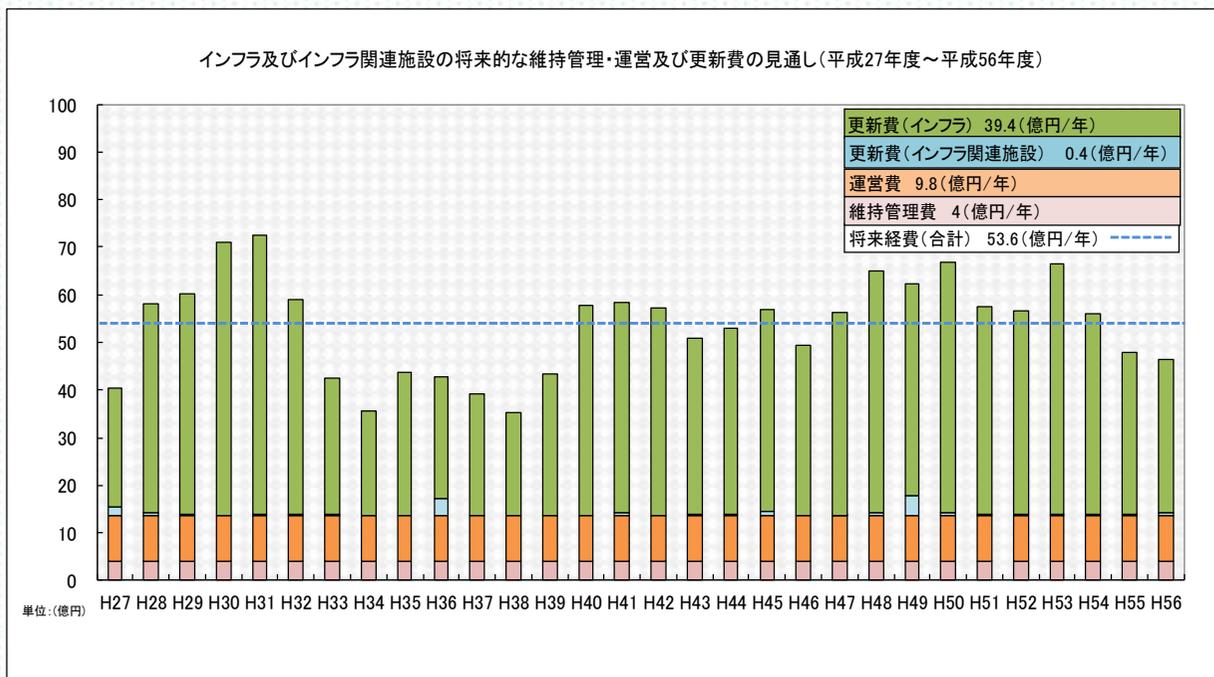
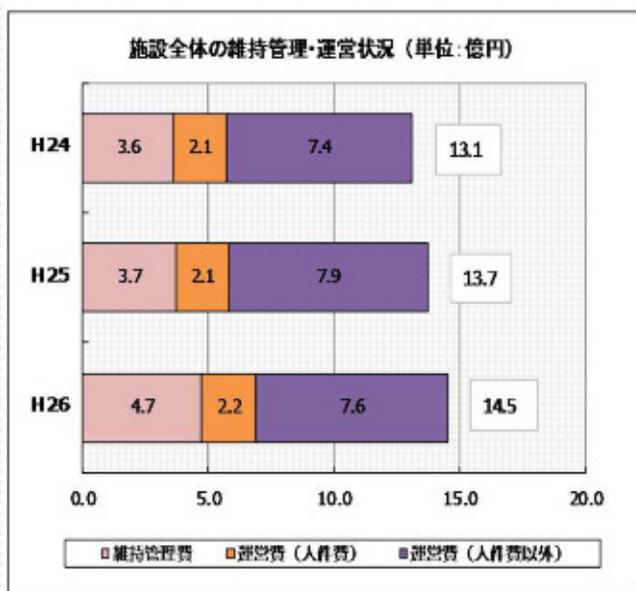
2.本庄市の公共施設等の概況

(7)維持・更新費の見通し

2. インフラ施設

※現在、インフラデータは確認整理中のため、今後数値等を含め変更の可能性があります。

今後30年間の更新費は約1,195億円(39.8億円/年)
 →直近5年間の投資的経費平均額(約20億円)を上回る施設の維持・運営・更新コストとして約53.6億円/年が必要

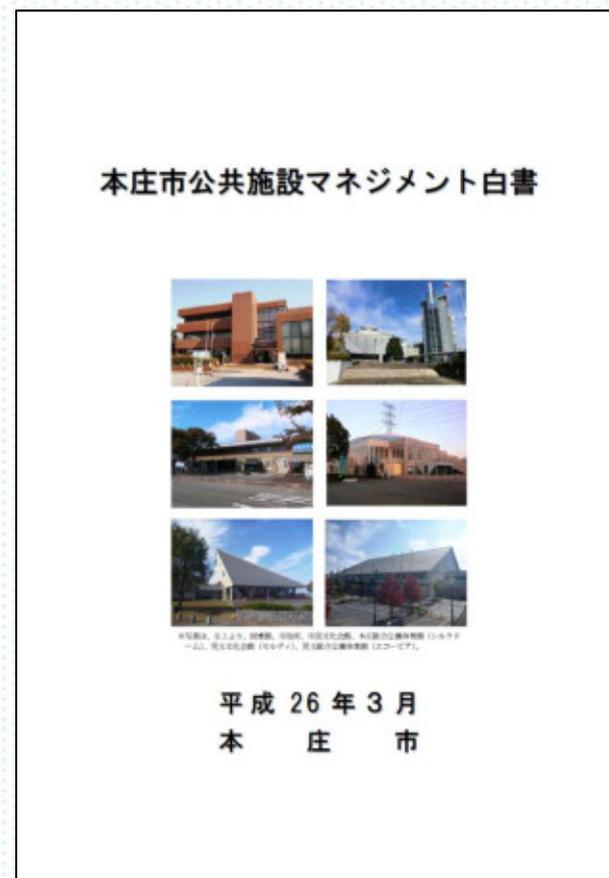


※河川、公園・広場、屋外スポーツ施設、防災施設、農業水利施設(各インフラ関連施設を除く)は更新費用推計から除く。
 ※竣工年、延床面積、構造が不明及び構造がプレハブ等簡易構造の建築物は更新費用推計から除く。

3.本庄市の主な取組状況

■ 本庄市公共施設マネジメント白書(H26.3)

- 市が保有する公共施設(建築物)の利用状況や建物の状況、維持管理にかかる費用などの全体像を明確にするもの。
- 市民と情報共有し、今後の施設全体のあり方を検討するための基礎資料として作成。
- 平成25年度に作成し、市ホームページに公表。



3.本庄市の主な取組状況

■ 本庄市公共施設再配置計画(H27.3)

- 公共施設マネジメント白書を基礎資料として、財政負担の縮減と施設サービスの向上に向けた公共施設の更新・機能見直しや維持管理・運営の効率化などのあり方について定めた。
- ハコモノ施設に関しての市の基本的な考え方や全体目標、取組等について掲げたもの。
- 平成26年度に作成し、市ホームページに公表。



3.本庄市の主な取組状況

【公共施設再配置計画の基本方針】

① 財政負担の縮減

➤施設の統廃合（施設総数・総量の規制）や長寿命化を図るとともに、既存施設の効率的な維持管理・運営と効果的な活用により財政負担の縮減に取り組む。

② 施設の安全性確保

➤耐震改修や老朽化対策等による施設の安全性の確保に取り組む。

③ 施設サービスの効率化と質の向上

➤市民ニーズや社会情勢の変化に応じた提供サービスの集約・重点化等による施設サービスの見直しや効率化とともに、施設の利用改善及びサービスの質の向上に取り組む。

【公共施設再配置計画の基本原則】

【原則1】 公共施設の総数（116施設）を削減する。

【原則2】 公共施設の総量（総床面積）を削減する。

【原則3】 公共施設におけるライフサイクルコストを縮減する。

【施設総量（総床面積）の削減目標】

～30年間で15%
（約3万㎡）の削減を目標とする～

3.本庄市の主な取組状況

【公共施設等総合管理計画(インフラ編)の基本方針(案)】

※現在検討中

① 財政負担の縮減

➤施設の長寿命化を図るとともに、適切な維持管理等を推進することで、ライフサイクルコストの縮減と平準化に取り組む。

② 安心・安全なサービスの提供

➤計画的で健全な老朽化対策や耐震化等を行うことで、将来にわたる安心・安全なサービスの提供と施設の安全性確保に取り組む。

③ 施設機能の適正化

➤人口構造や地域社会環境の変化に応じ、サービス水準の維持を前提とした施設機能の適正化に取り組む。

【公共施設等総合管理計画(インフラ編)の基本原則(案)】

※現在検討中

【原則1】 インフラ施設の長寿命化を図る。

【原則2】 インフラ施設のメンテナンスサイクルを構築する。

【原則3】 インフラ施設の新設を抑制する。

【インフラ施設に係る
投資額の目標】

～現状の投資額を維持
する～

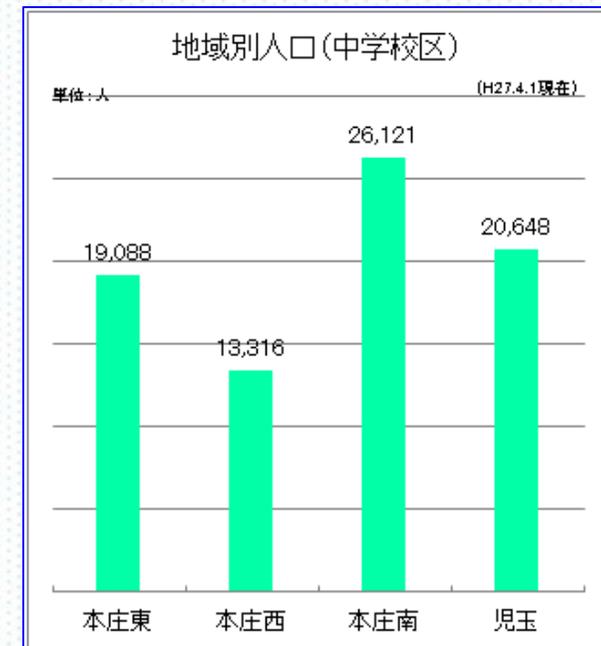
現在の投資的経費（1年当たり約20億円）の範囲内で今後のインフラ施設の新設・更新をバランスよく実施する。

本日のワークショップのテーマ・進め方

～本庄市の公共施設等の今後の方向性を考える～

【ハコモノ施設を検討するうえでの課題】

- ◆行政区・地域ごとの年齢構成や多様化する地域課題への対応が必要です。
- ◆一方、地域の拠点となる施設、避難所等の機能についても考慮する必要があります。

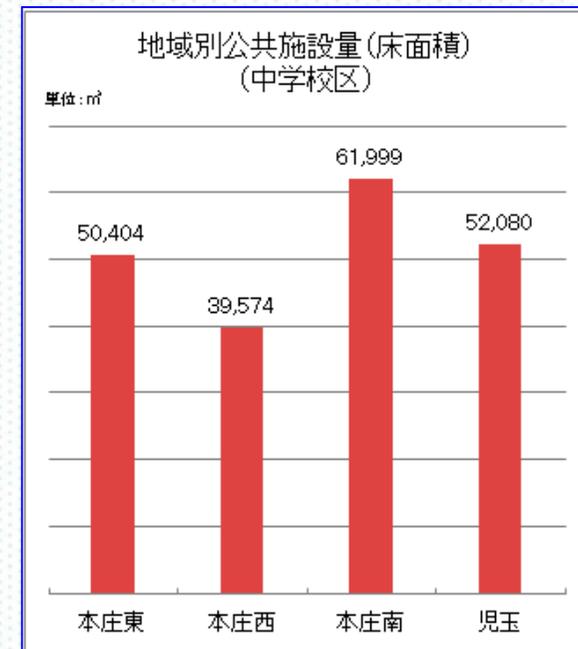
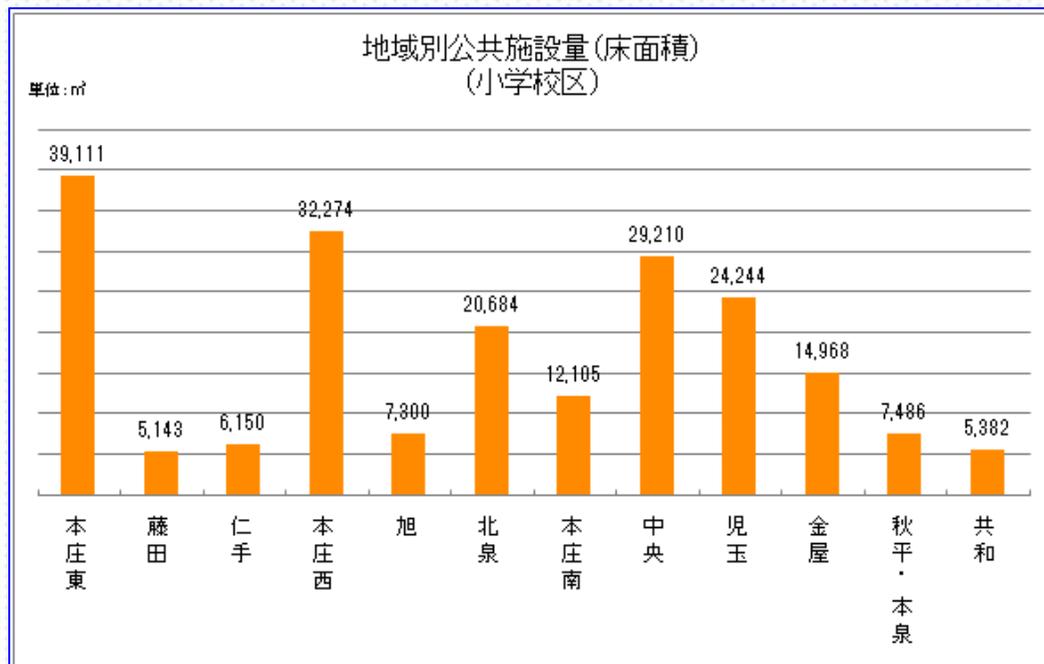


本日のワークショップのテーマ・進め方

～本庄市の公共施設等の今後の方向性を考える～

【ハコモノ施設を検討するうえでの課題】

- ◆行政区・地域ごとの年齢構成や多様化する地域課題への対応が必要です。
- ◆一方、地域の拠点となる施設、避難所等の機能についても考慮する必要があります。



本日のワークショップのテーマ・進め方

本日の検討テーマ1（ハコモノ施設について）

◆本庄市のハコモノ施設の「機能」と「立地」について考えます。

①「機能」について

- ・これだけは必要だと考える機能とは
- ・中心市街地（又は周辺地域）に必要な機能とは
- ・複合化・集約化できる機能とは

②「立地」について

- ・望ましい立地とは（分散型・集約型など）
- ・分散型、集約型などを検討する地区単位は（自治会単位、小学校区単位、中学校区単位、旧市町単位、市全域など）

本日のワークショップのテーマ・進め方

本日の検討テーマ1（ハコモノ施設について）

◆本庄市のハコモノ施設を「更新（建替）」するに当たっての今後の方向性について整理します。

③「更新」の方向性について

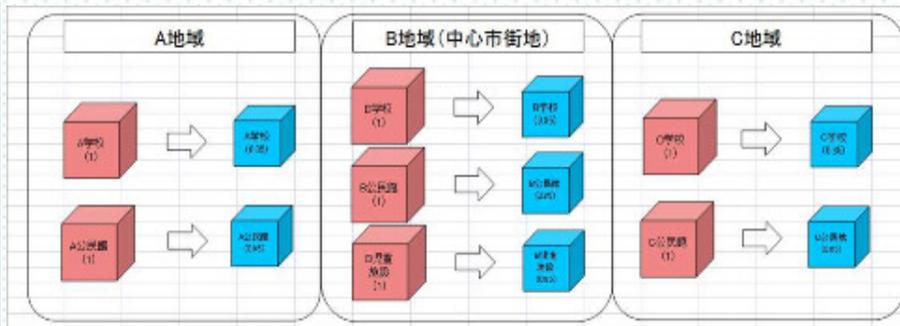
- ・パターン1: 全ての施設をそのままコンパクト（床面積縮小）に更新
- ・パターン2: 地域ごとに施設を複合化して更新
- ・パターン3: 地域ごとに役割分担（学校集約地区・公民館集約地区など）して更新
- ・パターン4: 小学校等の施設は中心部に複合化等し、他地域はむしろ地域活性化施設を設置

本日のワークショップのテーマ・進め方

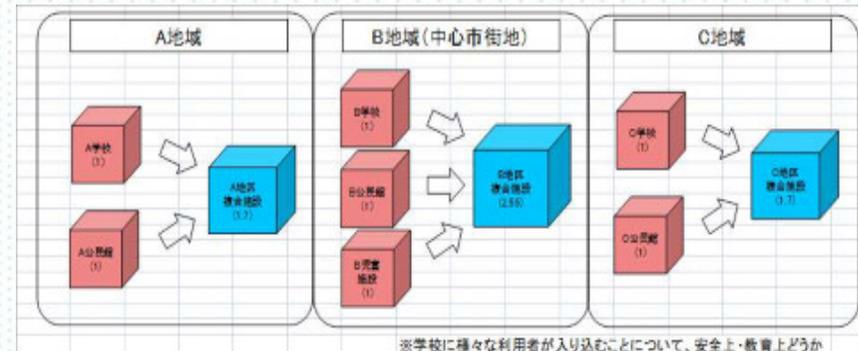
本日の検討テーマ1 (ハコモノ施設について)

③「更新」の方向性(イメージ図)

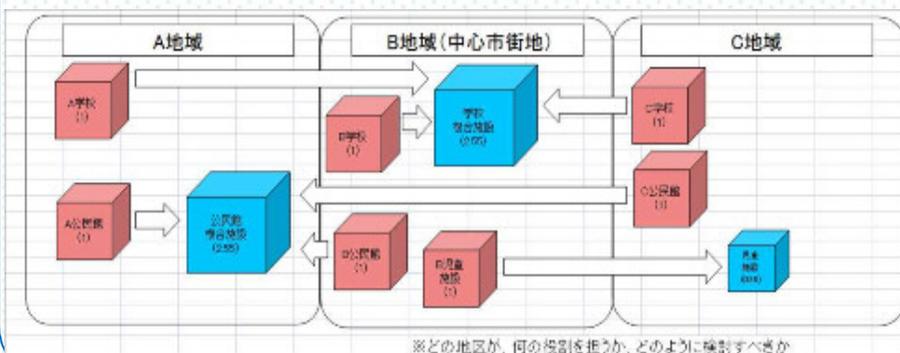
■パターン1: 全ての施設を縮小して更新



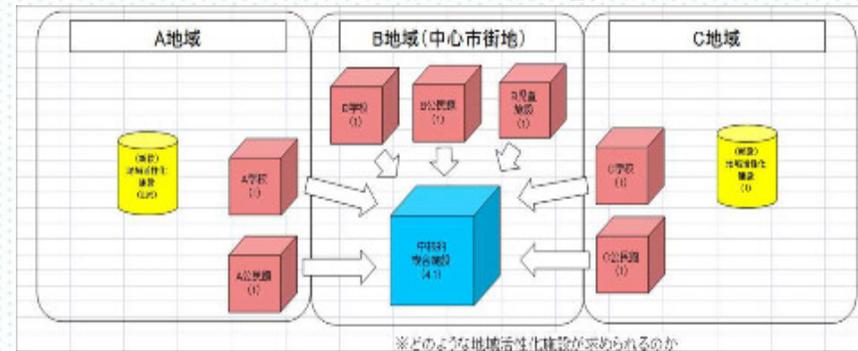
■パターン2: 地域ごとに施設を複合化して更新



■パターン3: 地域ごとに役割分担して更新



■パターン4: 施設を中心部に複合化し、他地域には地域活性化施設を設置



本日のワークショップのテーマ・進め方

本日の検討テーマ2(インフラ施設について)

～インフラサービスの質を落とさずにコスト縮減を図るには～

◆インフラ施設に係るコスト縮減に向けた今後の取組について考えます。

- ・民営化していくべきインフラサービスとは
- ・適正化(量の減少)していくべきインフラ施設とは
- ・市民や地域団体による維持管理を促進すべきインフラ施設とは
- ・長寿命化についての考え方

● 検討方法

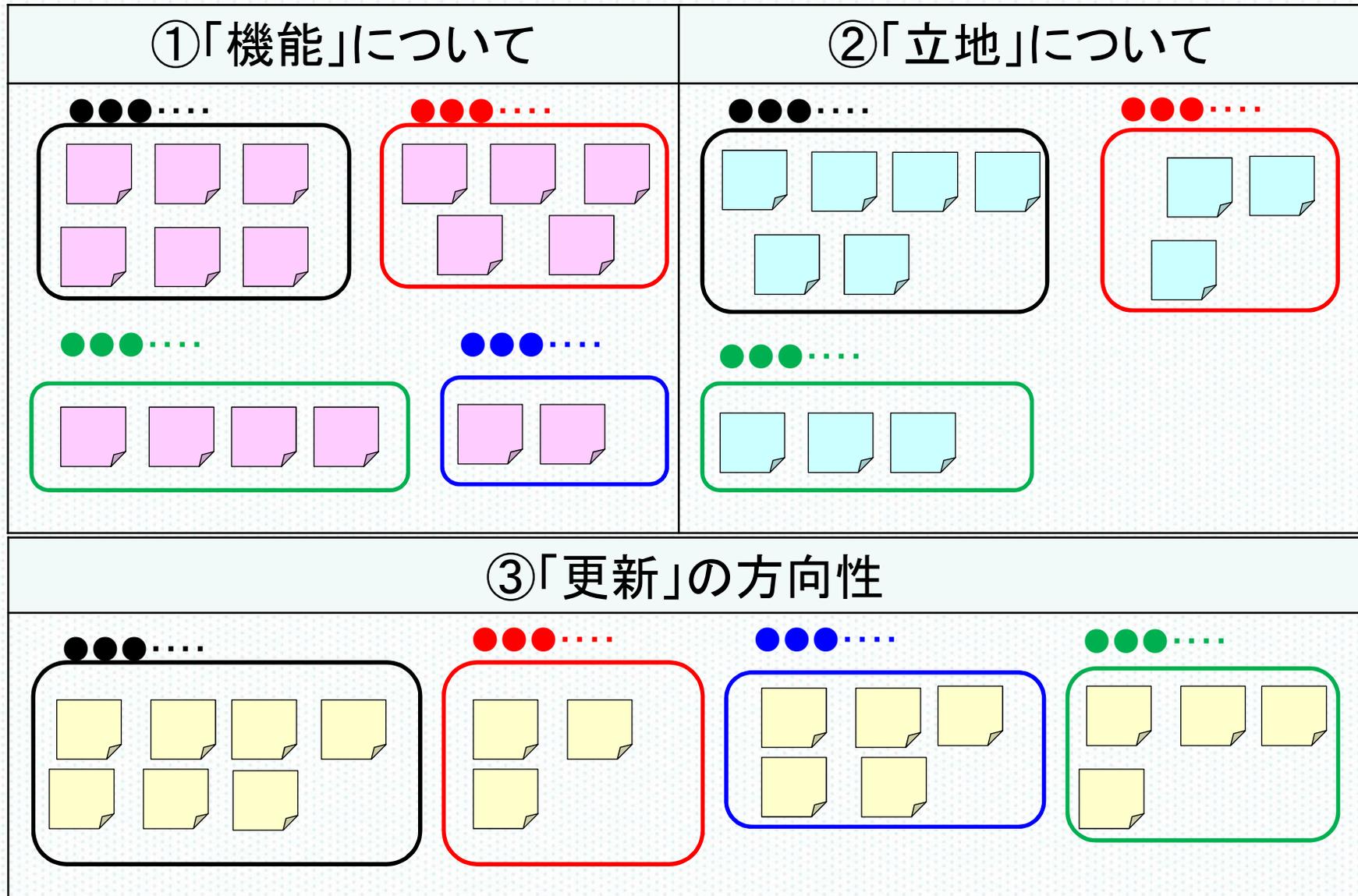
①本庄市の公共施設等「ハコモノ」「インフラ」それぞれの検討テーマについてを各自が付箋紙に記入。

②大判の紙に張り出しながら順に発表。

③張り出した意見を踏まえてみんなで考え、「今後の方向性」をまとめる。(付箋紙・模造紙に記録)

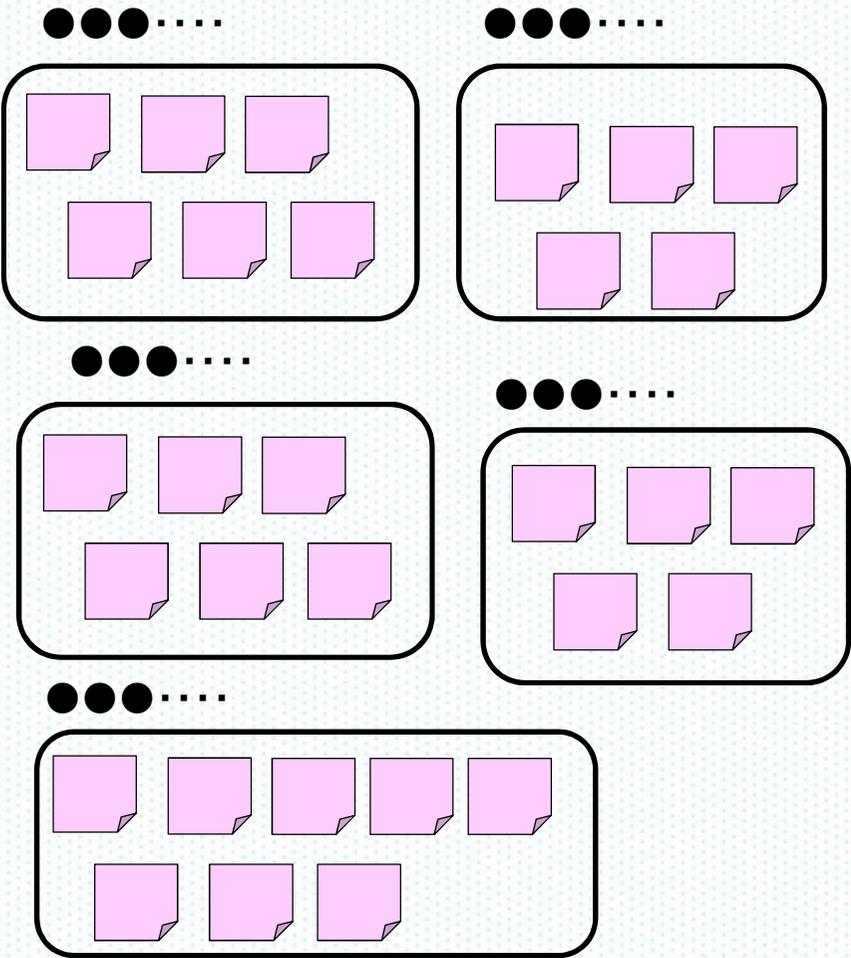
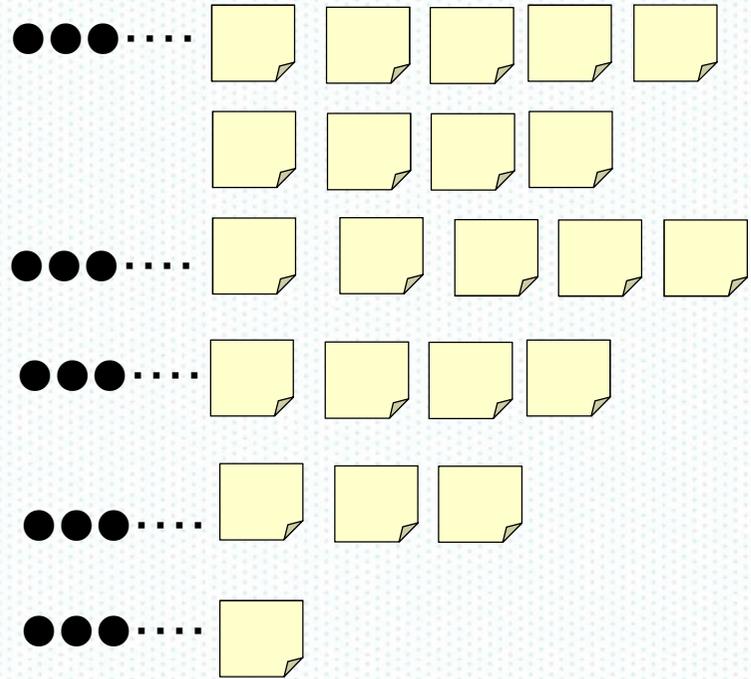
◆各班のまとめ方のイメージ

テーマ1:ハコモノ施設について



◆各班のまとめ方のイメージ

テーマ2: インフラ施設について

インフラ施設への取組	今後の方向性まとめ
 <p>The diagram illustrates four different ways to organize pink sticky notes into rounded rectangular containers. Each container is preceded by three black dots and a dotted line. The first two containers each hold six notes (two rows of three). The third container holds six notes (two rows of three). The fourth container holds eight notes (two rows of four).</p>	 <p>The diagram illustrates six different ways to organize yellow sticky notes. Each group is preceded by three black dots and a dotted line. The first group has five notes in a single row. The second group has four notes in a single row. The third group has five notes in a single row. The fourth group has four notes in a single row. The fifth group has three notes in a single row. The sixth group has one note in a single row.</p>